

# 米子東高等学校 硬式野球部

はじめに

1900年（明治33）創部の米子東高等学校硬式野球部は、甲子園で有数の強豪校として活躍していました。特に、昭和の中頃は非常に強いチームが続き、昭和35年第32回選抜高校野球大会では全国準優勝を果たしました。準優勝旗は重厚な装いで今でも校舎に飾ってあります。

文武両道を掲げる米東野球部の部員は、卒業後も大学野球、社会人野球、プロ野球など野球界で選手、指導者として活躍することはもちろん、政財界、ビジネス、教育などの分野にも活躍の場を移して、米東野球を通じて身につけた力を基に、その才能を遺憾なく発揮しています。

その歴史と伝統と革新が融合した米東野球の一部をご紹介します。

硬式野球部OB会 作成

その他情報は、公式サイト <https://www.beito89.com/> をご覧ください。（右下のQRコードでアクセスできます）

本案内掲載の情報は、2024年4月現在のものです。



# 歴史

## 甲子園出場（24回）

- 1925（大14）第11回全国中等学校優勝野球大会
- 1930（昭5）第16回全国中等学校優勝野球大会
- 1932（昭7）第18回全国中等学校優勝野球大会
- 1935（昭10）第12回全国中等学校選抜野球大会
- 1935（昭10）第21回全国中等学校優勝野球大会
- 1939（昭14）第25回全国中等学校優勝野球大会（ベスト8）
- 1950（昭25）第32回全国高等学校野球選手権大会（ベスト8）
- 1954（昭29）第36回全国高等学校野球選手権大会
- 1956（昭31）第38回全国高等学校野球選手権大会（ベスト4）
- 1960（昭35）第32回選抜高等学校野球大会（準優勝）
- 1960（昭35）第42回全国高等学校野球選手権大会
- 1961（昭36）第33回選抜高等学校野球大会（ベスト4）
- 1965（昭40）第37回選抜高等学校野球大会
- 1966（昭41）第38回選抜高等学校野球大会（ベスト8）
- 1970（昭45）第42回選抜高等学校野球大会
- 1977（昭52）第49回選抜高等学校野球大会
- 1983（昭58）第65回全国高等学校野球選手権記念大会
- 1986（昭61）第68回全国高等学校野球選手権大会（選手宣誓）
- 1989（平1）第71回全国高等学校野球選手権大会
- 1991（平3）第73回全国高等学校野球選手権大会
- 1996（平8）第68回選抜高等学校野球大会
- 2019（平31）第91回選抜高等学校野球大会
- 2019（令1）第101回全国高等学校野球選手権大会
- 2021（令3）第103回全国高等学校野球選手権大会



2021年夏 2大会連続夏の甲子園出場



## 国民体育大会出場（4回）

- 1950（昭25）第5回国民体育大会 高等学校野球（硬式）競技会
- 1956（昭31）第11回国民体育大会 高等学校野球（硬式）競技会（準優勝）
- 1960（昭35）第15回国民体育大会 高等学校野球（硬式）競技会（準優勝）
- 1986（昭61）第41回国民体育大会 高等学校野球（硬式）競技会

# 米子東高等学校硬式野球部 教育理念 より

日本一を目指す野球部員として  
地域に誇りと幸せと感動を提供し  
米東野球を通じて社会貢献を行う

## 目指す人物像

実力と品位、理性と情熱を兼ね備えた野球部員

問題発見・課題解決できる自立した野球部員

ナンバーワンを目指す野球部員

グローバルな思考で自己成長する野球部員

エビデンスに基づいたロジカルな野球部員



# 近年の主なメディアへの掲載

## 米子東 春夏連続甲子園

### 高校野球鳥取大会 夏は28年ぶり

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鳥取城北	1	0	2	0	0	1	0	1	0	5
米子東	2	0	1	0	0	0	1	2	X	6

### 鳥取城北との激戦制す

第101回全国高校野球選手権大会は昨日(27日)、米子市車庫のどらドラパーク米子市民球場で決勝があり、米子東が1対0で鳥取城北を下し、今夏の連戦大に勝ち、甲子園出場を決めた。夏の連覇は1991年以来、28年ぶり。同日、全国大会は8月6日、兵庫県西宮市の甲子園球場で開催する。

鳥取城北が制した春季大会、米子東が制した夏季大会は、両大会を通じて、米子東は1点之差で夏の連覇に挑むことになる。春夏連続甲子園出場は、米子東が史上初となる。春夏連続甲子園出場は、米子東が史上初となる。

決勝までの戦績  
 ▼2回戦 7-0鳥取中央青英 (七回コールド)  
 ▼準々決勝 5-1米子松橋  
 ▼準決勝 6-1鳥取

鳥取大会優勝  
(2019.7.27山陰中央新報)

日本野球科学研究会  
(2018.12.16日本海新聞)

## 米子東 甲子園へ

鳥取商 2 1 0 0 0 2 0 1 1 1 = 8  
 米子東 3 1 0 0 0 0 0 0 3 2x = 9

### 激闘制し夏「連覇」

#### 強打鳥取商、力尽く

103回 夏の高校野球 鳥取大会

日本海新聞 アプリア好輝

鳥取大会優勝  
(2021.7.28日本海新聞)

## 野球研究で特別新人賞

### 米子東高部員ら 高校生で初受賞

#### データ収集、試合に生かす

「野球研究で特別新人賞」を受賞した米子東高部員ら。左から、部長の野村、副部長の山本、部長の野村、副部長の山本、部長の野村、副部長の山本。

「野球研究で特別新人賞」を受賞した米子東高部員ら。左から、部長の野村、副部長の山本、部長の野村、副部長の山本、部長の野村、副部長の山本。

# 米子東高等学校硬式野球部の特色

## ○栄光の歴史

明治33年に創部、令和2年には120周年を迎えました。この間、選手権地方大会に第1回から皆勤出場、甲子園出場24回、特に昭和35年の選抜大会では、山陰勢過去唯一となる決勝戦進出を果たすなど、選抜大会を中心に、全国舞台でも活躍してきました。

昭和35年に春夏連続出場以降、夏の甲子園からは遠ざかっていましたが、昭和58年に殻を破ると、61年、平成元、3年と出場し、夏の強さも取り戻しました。平成以降の勝ち星は、8年選抜での1勝にとどまりますが、今なお、地元米子をはじめとする皆さんの大きな期待を背負いながら、再び甲子園の桜舞台でかつての強さを発揮できるよう活動しています。

夏の選手権鳥取大会においては平成29年に久々の決勝進出。その後、平成31年選抜大会で23年ぶりの甲子園出場を果たすと、夏の鳥取大会では28年ぶりの優勝を遂げ、59年ぶりの春夏連続甲子園出場を達成しました。令和3年は選抜補欠校（秋季中国3位）となった悔しさを胸に夏を制するなど、久々の甲子園での校歌が目前に迫っています。

# 米子東高等学校硬式野球部の特色

● 県内トップクラスの進学校のため、医者や弁護士など、夢を実現するための進路を目指しながら甲子園も目指せる全国屈指の高校

医者、弁護士、公認会計士や国家公務員などの職業や会社経営者など、将来の夢を実現するための「進路」と、学生時代の夢である「甲子園出場」の両方を同時に叶えることが可能な、全国でも数少ない学校です。次ページ以降の野球界や社会人としての主な活躍をご確認ください。

● 現役野球部の取り組みの一部

## ◎野球振興

野球競技人口は急激なペースで右肩下がりを続けています。鳥取県内では、人口減少の約4倍のペースです。減少を食い止め、未来の野球少年・少女に、野球の楽しさを感じてもらうため、保育園、学童保育などを定期的に訪問し、野球の普及活動を行っています。また、学童野球（小学校）チームとの合同練習も行っています。

## ◎科学的な取り組み

「目指す人物像」で表現されている通り、従来の感覚的な技術論を見直し、科学的根拠のある、そして再現性があり選手により当たり外れのない理論による指導、及び技術獲得を目指します。プロ野球の元コーチ（動作の専門家）からの定期的な指導もあり、特に打撃力は鳥取県ではもちろん、全国クラスのチームとの試合でも引けを取りません。

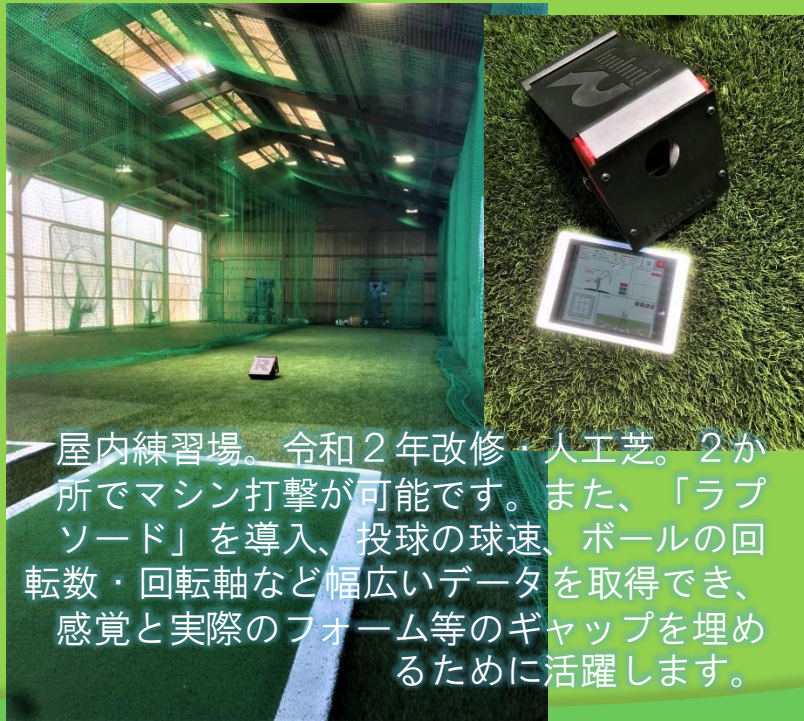
県外から本校を受検して合格し、下宿をしながら勉強と野球の両立を図っている野球部員もいます。



## 活動環境



第1グラウンド。野球部専用です。選手権地方大会、プロ野球オープン戦が開催された実績も。やや手狭ですが、練習試合にも使用します。LED照明（内野）あり。



屋内練習場。令和2年改修・人工芝。2か所でマシン打撃が可能です。また、「ラプソード」を導入、投球の球速、ボールの回転数・回転軸など幅広いデータを取得でき、感覚と実際のフォーム等のギャップを埋めるために活躍します。



トレーニングルーム。各部共用のウェイトトレーニング室です。

### その他

右翼フェンス外に「ピッチングハウス」があり、2人同時に投球できます。部室は左翼側にあり、着替えやミーティング、トレーニングで利用します。

練習試合等では、主に県西部地区の野球場を利用することもあります。



## 関東遠征を行いました(2024年3月)



3月中旬に東京、神奈川へ遠征を行いました。東京大学との練習試合は、残念ながら雨天中止となりましたが、部員の方々から直接お話を聴くなどして、東大を肌で感じることができました。また、昨夏日本一に輝いた慶應義塾などと練習試合を行いました。全国トップレベルのチームを相手に臆することなく戦い、力が通用することを身をもって経験する機会となりました。(この遠征にあたっては、OB会からも部員家庭負担軽減を目的とした資金援助を行いました)





# 米東野球部OBの野球界での主な活躍

## プロ野球・大学野球・社会人野球界などで活躍

- 湯浅禎夫（17期）：第1回プロ野球日本シリーズ優勝監督。「大正の大投手」。大学時代は東京六大学連盟創設シーズン第1球を投球、ノーヒットノーラン2回、シーズン最多奪三振記録保持。
- 岡本利之（31期）：ライオン。米東監督として選抜準優勝。米子市民栄誉賞。著書「白球と共に」。
- 井上親一郎（33期）：国鉄初代主将。
- 清水秀雄（33期）：明治大4連覇のエース。中日などで活躍。
- 成田啓二（34期）：国鉄初代開幕投手。
- 木下勇（35期）：阪神で開幕投手。米東監督として夏の甲子園ベスト4。
- 土井垣武（37期）：大阪（現阪神）で主軸、ベストナイン。米子市民栄誉賞。
- 長谷川善三（38期）：黄金期の大阪で名ショートとして活躍。
- 国頭光仁（49期）：阪急に在籍。
- 義原武敏（52期）：読売時代、日本シリーズ先発。
- 長島康夫（53期）：戦争の動乱のため19歳で夏の甲子園出場、ベスト4進出のエース。社会人野球でも活躍。著書「19歳の甲子園」。
- 清水賢（57期）：選抜準優勝時捕手。東映に在籍。
- 宮本洋二郎（57期）：選抜準優勝投手。読売などを経て広島スカウト時代に前田健太を担当。
- 岩本紘一（59期）：亜細亜大の東都大学リーグ初優勝時主将。社会人時代、日本代表。元米東監督。
- 勝部敬一（63期）：早稲田大にて主将を務めた。社会人野球でも活躍。
- 野口裕美（75期）：立教大で東京六大学シーズン戦後最多奪三振記録樹立。西武にドラフト1位で入団。
- 杉本真吾（80期）：慶応大助監督。経営者の傍ら、現在もNHKの甲子園中継で解説者を務める。元米東監督。
- 森下智之（110期）：明治大にて東京六大学ベストナイン（三塁手）獲得。2018年大学侍ジャパン代表。現、社会人野球SUBARU。
- 岡本大翔（117期）：現、読売育成選手。



森下智之（明治大 - SUBARU）

## 平成卒業以降 主要大学野球部の在籍者（昭和卒業までも多数在籍）

- 東京六大学リーグ：東京大1名、慶応大5名、立教大1名、明治大2名、法政大1名
- 東都大学リーグ：順天堂大2名、学習院大1名
- 関西学生リーグ：関西大1名、関西学院大2名、同志社大2名、近畿大1名
- 関西六大学リーグ：大商大2名 首都大学リーグ：筑波大9名 近畿学生リーグ：大阪大2名、神戸大2名
- 九州六大学リーグ：九州大2名 東京新大学リーグ：東京学芸大4名
- その他、国立大、私立大などで多数



岡本大翔（読売）

# 進路

米東野球部から有名大学への進学は、前ページのほか、名古屋大、東北大、北海道大、早稲田大、上智大、中央大、青山学院大、立命館大、横浜国立大、東京芸術大、広島大、岡山大、鳥取大、島根大、国立大医学部・薬学部など多数

**近年の進路実績** ※近年の甲子園ベンチ入り選手で、3名が医学部医学科に進学しました

## ◆120期 (令和6年卒)

大阪教育大(教) 大阪教育大(教) 神戸大(法) 和歌山大(教) 広島大(教)  
島根大(教) 立命館大(経) 京都産業大(現代社会)

## ◆119期 (令和5年卒)

筑波大(体) 静岡大(人文) 大阪公立大(現代システム) 広島大(工) 長崎大(医)  
鹿屋体育大(体) 慶應義塾大(環境情報) 武蔵野大(法) 同志社大(商) 龍谷大(営)  
甲南大(文) 関西学院大(文)

## ◆118期 (令和4年卒)

埼玉大(教) 大阪教育大(教) 岡山大(教) 鳥取大(医) 島根大(医) 島根大(材料)  
山口大(経) 愛媛大(社会) 大分大(経) 順天堂大(スポ) 法政大(人間環境)  
同志社大(社会) 京都産業大(現代社会) 大和大(理工) 関西外国語大(英語)

## ◆117期 (令和3年卒)

東京学芸大(教) 横浜国立大(教) 山梨大(医) 県立広島大(地域) 明治大(法)  
同志社大(商) 同志社大(商) 京都橘大(健康) 関西大(政策)  
鳥取県西部広域行政管理組合 株式会社読売巨人軍(プロ野球育成選手)

## ◆116期 (令和2年卒)

鳥取大(農) 島根大(総合理工) 慶應義塾大(総合政策) 龍谷大(営) 同志社大(社)  
同志社大(政策) 大阪商業大(経) 関西福祉科学大(保健)

## ◆115期 (平成31年卒)

茨城県立医療大(保健) 大阪教育大(教) 神戸大(経) 岡山大(工) 島根大(医)  
島根大(教) 高知大(地域)



# 米東野球部OBの進学後の社会人としての主な活躍

## 著名な元職

- ・元プロ野球選手 多数
- ・元米子市長 斎藤干城：医師、陸軍軍医中将。
- ・元広島市長 栗屋仙吉：原爆投下時市長。広島市に「被爆市長公舎跡記念碑」の石碑と説明版が建てられている。
- ・元県会議員  
など 民間企業など他分野でも活躍

## 現役で活躍中の社会人

- ・医師 12名
- ・弁護士 6名
- ・日本証券業協会 会長（森田敏夫 76期、前・野村証券株式会社 代表取締役社長）
- ・鳥取県 日吉津村長（中田達彦 87期）
- ・四国アイランドリーグplus「香川オリーブガイナース」球団取締役（前田恭典 74期）
- ・会社経営者 多数
- ・国家公務員（金融庁、環境省、ほか） 多数
- ・マスコミ関係（テレビ・新聞など） 多数
- ・アナウンサー
- ・公認会計士
- ・税理士
- ・市町村教育長
- ・地方公務員（鳥取県庁、米子市役所、鳥取市役所など） 多数
- ・大学野球総監督、コーチ
- ・高校教員（高校野球監督、部長含む） 多数
- ・中学校教員（中学野球監督含む） 多数
- ・小学校教員 多数
- ・東証1部上場企業など、有名企業に在籍（トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、本田技術研究所、マツダ、三井物産、住金物産、野村証券、損保ジャパン、東京海上日動火災、三井住友海上、住友生命、ソニー損保、あいおいニッセイ損保、アフラック、アシックス、全日本空輸、大林組、野村不動産、日立金属、三菱UFJ銀行、みずほ銀行、山陰合同銀行、鳥取銀行、テレビ朝日、毎日放送、関西テレビ、山陰放送、日本海テレビ、山陰中央テレビ、読売新聞、朝日新聞、日本海新聞、アサヒビール、麒麟ビバレッジ、サントリー、サッポロビール、JCB、日本通運、パナソニック、三菱電機、川崎重工、IHI、JR西日本、ライオン、江崎グリコ、白鶴酒造、寿製菓 など多数）

## 旭日小綬章

川中修一（59期） 弁護士  
鍵谷純三（62期） 元県会議員

同賞は青木功、樹木希林、オシム元監督（サッカー日本代表）など著名人が多数、授与されている。

# 学校の主な特徴

## ○進路情報

本校は鳥取県内有数の普通科の進学校です。東大、京大をはじめとする旧帝大や、医学部を含む難関国公立大、早慶、関関同立、MARCHをはじめとする有名私学へも、毎年合格者が輩出しています。平成30年度新入生から「単位制」を導入し、様々な進路希望への対応が一層可能となりました。（参照：学校サイト）

## ○科学的教育における取組

課題研究等の独自の科目において、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を行います。希望者に、野球に関する研究等を授業の一環として行っています。「科学的な野球」の基礎力を身につけ、将来、研究者や、教員として、発展的な研究に取り組む人材の育成に繋がればと考えています。練習、試合、練習・・・という従来の部活動の枠の中に収まらず、新たに「学問」という視点から、野球を捉えることができる絶好の機会となっています。

平成30年には野球科学研究会 第6回大会にて野球部員を含む本校生徒が研究内容を発表し、大会特別新人賞を受賞しました。（発表内容「表情や姿勢及び言動とパフォーマンスとの関係性について」、「ゴロを打ては正しいのか」）

令和元年（第7回大会）「動作の習得において動画を用いた練習法は効果的なのか」、「野球の動作においてどのオノマトペが有効か」、「高校野球に流れは存在するのか」

令和3年（第8回大会）「前の回の守備が次の回の攻撃に影響するのか」、「腰椎分離症治療中の適切なトレーニングでパフォーマンスを上げることが可能か」

令和4年（第9回大会）「1アウト3塁2塁における内野の守備隊形について」、「0アウトランナー無しの得点確率及び得点期待値と選手の認識の差についての考察」、「サウナによるコンディショニングは短期的な疲労回復効果があるのか」

令和5年（日本野球学会と改称。第1回大会）「高校野球における高めのストレートの有効性について」、「球速帯の変化と打球方向のちらばりについて」、「野球人口増加への取り組み：スポーツ少年団に着目して」、「サウナには心理的競技能力を向上させる効果があるのか」・・・毎年発表しています。

## ○著名な卒業生

菅田栄治（23期） - 工学者、国産第一号の電子顕微鏡の組み立てに成功

吹野博志（56期） - デルコンピュータ会長（元）

岡本おさみ（57期） - 作詞家、代表作に「襟裳岬」（森進一）

中本晃（60期） - 島津製作所取締役相談役（元：代表取締役社長）

まつもとゆきひろ（80期） - プログラミング言語「Ruby」作者

桜庭一樹（86期） - 直木賞作家

上田まりえ（101期） - タレント、日本テレビアナウンサー（元）

藤原聡（106期） - 「official髭男dism」ボーカル